

## 時間割

※休憩時間は10分、昼休みは1時間(12:10～13:10)です。

## 【選択領域講習】講習名:⑩保育のリフレッシュとスキル・アップ講座 (板橋キャンパス)

月日	時限		タイトル	概要	担当者	講座形式	認定方法	持ち物・連絡事項
8/19 (月)	1限	9:00～10:30	遊びの充実と環境構成について	幼稚園教育要領に対する理解を深めながら、幼児期における遊びの重要性や捉え方を確認する。併せて、事例を交えながら、「遊びの充実」に関する共通理解を図ると共に、そのための教師の援助について整理する。そして、これらの学習内容を踏まえ、ビデオ教材等の事例を手がかりとしながら、遊びの理解とその充実を図るための援助についてディスカッションを行う。	前田和代	講義	筆記試験	特になし
	2限	10:40～12:10		前半部分の講義内容を踏まえ、遊びにおける子どもの「協同的な体験」を援助するにあたっての教師の在り方や発達の視点について確認する。これらの学習内容を踏まえ、資料や具体的な事例などを交えながら、遊びが充実するための環境構成や教師の役割について実践的に学ぶ。				
	3限	13:10～14:40	保育技術の向上(音楽表現)	幼児期の発達をおさえながら、保育における「表現活動」の意義を確認する。そのうえで音楽表現の分野から幼児における豊かな感性や創造性、表現する力の育ちを援助するための教師の役割を整理し、また、そのような援助をより充実したものにする技術についても、実践例を交えながら理解を深め、その具体的なポイントを学ぶ。	細田淳子	講義	筆記試験	【持ち物】 上履き
	4限	14:50～16:20		前半部での講義内容を踏まえ幼児の感性や創造性、そして、表現する力を育むための教師の在り方を実践的に学ぶ。また、幼児の音楽表現を歌唱表現と器楽表現に大別して考え、創造性や自発性を育てるための音楽表現の具体的な方法を実技演習を交えながら学ぶ。				
8/20 (火)	1限	9:00～10:30	子どもをとりまく文化の変化と子どもの育ち	子どもをめぐる文化の動向に関する実例や調査などの資料を活用し、子どもをとりまく文化環境の変化を具体的に捉える。これらの学習内容を踏まえ、子どもの育ちの観点から現代的な文化の特徴を整理し、幼児の成長・発達を支える文化の重要性を確認する。そのうえで、幼稚園教育において文化環境の充実を図る教師の役割について理解を深める。	是澤優子	講義	筆記試験	特になし
	2限	10:40～12:10	乳児期から幼児期への発達をふまえた保育	乳児期から幼児期の発達を育ちの連続性という視点からとりあげ、子どもたちの生活を支える保育者の役割について確認する。近年の社会情勢の変化により、乳児期から保育経験のある子どもたちが増える昨今、個々の育ちをどのように保障するかが課題となっている。集団の中の「個」の育ちについて、現代的課題をふまえた上で、事例や資料を通して考察する。	堀 科	講義	筆記試験	特になし
	3限	13:10～14:40	保育内容の探究(演劇表現)	幼児期の発達をおさえながら、幼児の総合的な体験としての保育内容における「表現活動」の意義を確認する。そのうえで幼児における豊かな感性や創造性、表現する力の育ちを援助するための教師の役割を整理し、また、幼児の表現する力を発表する機会の在り方とそこに向けた教師の援助についても、実践例を交えながら理論と技法に関する理解を深め、その具体的なポイントを学ぶ。	花輪 充	講義	筆記試験	【持ち物】 運動靴(室内用)
	4限	14:50～16:20		前半部での講義内容を踏まえ、ワークショップ形式により、幼児の感性や創造性、そして、表現する力を育むための教師の在り方を実践的に学ぶ。また、幼児の表現する力を発表する機会について、ドラマという視点から捉えた場合の教師の援助の実践について、実技演習を交えながら学ぶ。				

<b>時間割</b>
------------

※休憩時間は10分、昼休みは1時間(12:10～13:10)です。

【選択領域講習】講習名:⑩保育のリフレッシュとスキル・アップ講座 (板橋キャンパス)

月日	時限		タイトル	概要	担当者	講座形式	認定方法	持ち物・連絡事項
8/21 (水)	1限	9:00～10:30	「気になる子」への理解と援助	気になる子どもや障害のある子どもをめぐる諸問題を中心に、一人ひとりの子どものニーズに応じた援助のあり方を考える。また、特別支援教育の現状やインクルーシブ教育の潮流を探り、気になる子どもや障害のある子どもがいる保育、さらにはインクルーシブな保育実践の意義について考える。	石川昌紀	講義	筆記試験	特になし
	2限	10:40～12:10		前半部での講義内容を踏まえ、自身の保育の機微から事例をあげて語り合い、気になる子どもや障害のある子どもの理解を深めたうえで、保育を問い直す。また、応用行動分析の理論と方法を背景に、「気になる子」への理解と援助に関する包括的な知見を得ることから、保育者の実践力向上を図る。		演習		
	3限	13:10～14:40	保育内容の探究(造形表現)	幼児期の発達をおさえながら、幼児の総合的な体験としての造形における「表現活動」の意義を確認する。そのうえで幼児の豊かな感性や創造性、表現する力の育ちを援助するため、教師の役割を整理し、また、幼児の表現する力を発表する機会の在り方とそこに向けた教師の援助を学ぶ。実践例を交えながら理論と技法に関する理解を深める。	森田浩章	講義	筆記試験	【持ち物】 はさみ、スティックのり、 色のついたペン、 マーカー3～4色 お菓子の空き箱3個
	4限	14:50～16:20		前半部での講義内容を踏まえ、ワークショップ形式により、幼児の感性や創造性、そして、表現する力を育むための教師の役割を実践的に学ぶ。また、幼児の表現する力を発表する機会について、日常の身近な遊びを造形展へと発展させていく教師の援助の実際について、実技演習を交えながら学ぶ。		演習	その他 (作品提出)	【連絡事項】 作品は持ち帰りして もらいます。

※認定方法は「筆記試験」「実技考査」「口頭試験」「その他(試験方法を明記)」のように履修認定は試験により行う。

※試験は本人確認ができる形態で行う。

**\*講習内容が変更になる場合もあります。ご了承ください。**